

外国につながるのある子どもたちを地域で支える

# 心理コーディネーター養成講座

不登校になりそうな児童生徒、  
不登校・不就学になっている児童生徒を  
地域の力とつなげることでサポートするコーディネーター



コーディネーターがつなぐ

参加費  
無料



外国人児童生徒の心理サポートに関心のある皆さん  
講義とグループワークで基礎知識と実践の知恵を学びましょう

講師： 明治学院大学心理学部の先生方です

教授 緒方明子さん、研究員 田中ネリさん(四谷ゆいクリニック、千葉メンタルクリニック)、

教授 渋谷恵さん、教授 阿部裕さん(四谷ゆいクリニック院長)

研究員 津田友理香さん、教授 杉山恵理子さん、准教授 鞍馬裕美さん

日時：2016年10月29日(土)、11月5日(土)、11月12日(土)、11月26日(土)、12月3日(土)  
12月10日(土)、12月17日(土) 全7回 部分参加も歓迎です  
15:40～17:40 (講義とグループワーク)

参加対象： 外国人児童生徒の心理サポートに関心のある方(日本人、外国人) 定員:30名

場所： 伊勢崎市緋の郷(群馬県伊勢崎市昭和町1712番地2)

問い合わせ・申し込み先:

お名前、所属、電話番号、メールアドレス、年齢、国籍を添えお申し込み下さい

Email: [jp.ed.jcommunication@gmail.com](mailto:jp.ed.jcommunication@gmail.com) 電話: 070-5021-9103

主催：群馬県 本事業は、群馬県委託事業「外国人児童生徒教育・心理サポート事業」です

委託実施団体：NPO法人 J コミュニケーション(伊勢崎市本町20-1 SOAビル201)

# スケジュールと講義内容



■ 10月29日(土) 講師: 明治学院大学心理学部教育発達学科 教授 緒方明子さん

## 第1回 発達障害の理解と支援

学習面や対人関係で困っている子どもたちがいます。しかし、子どもは自分から「困っていることを周囲の大人に伝えることはできません。だからこそ、周囲の大人が気づき、適切な支援を行うことが必要です。気づくためのポイントと具体的な支援方法について話したいと思います。

■ 11月5日(土) 講師: 明治学院大学心理学部心理学科研究員 臨床心理士 田中ネリさん  
(四谷ゆいクリニック、千葉メンタルクリニック)

## 第2回 外国につながる子どもの心の理解と支援

子どもの心を理解するのにわたしたちはどう接したらいいのか? どういう点に目を向けたらいいのか? 子どもが理解されたと感じた時、どう変わっていくのか? 外国につながる子どもの場合、どういう点に目を向けたらよいか? 具体的な例を通して、皆さんとともに、外国につながる子どもとその親への支援を考えたいと思います。

■ 11月12日(土) 講師: 明治学院大学心理学部教育発達学科 教授 渋谷恵さん

## 第3回 多様性と共に生きる

多文化環境で支援を行う際には、子どもたちの心や文化的背景を理解するとともに、多様性に関わる際の私たち自身の意識や感じ方、関係の中での自分自身の「立場」を知ることも大切です。講義とワークを通して、多文化環境での共生と支援について考えてみましょう。

■ 11月26日(土) 講師: 明治学院大学心理学部心理学科 教授 阿部裕さん  
(四谷ゆいクリニック院長)

## 第4回 子どものこころの病の見分け方と支援

自閉スペクトラム障害、ADHD、学習障害など広義な意味での発達障害と統合失調症、うつ病などの小児の精神障害を見分けることは困難な場合が多く、また、両者が併存している場合もあります。なんだかおかしいというときには専門家に相談しましょう。

■ 12月3日(土) 講師: 明治学院大学心理学部心理学科 研究員・臨床心理士 津田友理香さん

## 第5回 思春期・青年期の課題: アイデンティティの揺らぎ

複数の言語・文化圏で育った子どもたちは、思春期以降にたくさんの心理的課題を抱えます。なかでも自分自身のあり方や生き方を問うアイデンティティの揺らぎは、外国につながる子どもを理解する上では欠かせないテーマです。現場での対応の工夫などについて皆さんと議論できればと思います。

■ 12月10日(土) 講師: 明治学院大学心理学部心理学科 教授 杉山恵理子さん

## 第6回 心理サポートの基礎

さまざまな困難を抱えている方たちの話を聴き、こころを支えるために、必要なことはどういうことでしょうか? 講義とワークを通して、出会いから信頼関係を築くまでの過程を学び、改めて自分らしい支援について考えてみましょう。

■ 12月17日(土) 講師: 明治学院大学心理学部教育発達学科 准教授 鞍馬裕美さん

## 第7回 外国につながる子どもの学習環境とその整備—学校・行政・地域の側面から—

外国につながる子どもを取り巻く学習環境を多面的に捉え、求められるあり方について追究します。各家庭のみならず、学校、行政、地域がいかなる学習環境を生み出しうるのか、一緒に考えていきましょう。